

「とにかく助ける」 母子を救うロジック抜きの感覚

『衝撃を受けた』『世界から遅れる日本の現状がわかった』。このとりのゆりかごや内密出産をテーマにした本紙新春号の慈恵病院・蓮田健氏インタビューには、反響の声が多く寄せられた。こうしたレスポンスに「この記事に反応があるのはうれしいこと」と微笑むのは、目白大学准教授の姜恩和氏。

韓国をはじめとする諸外国のベビーボックスや養子制度に関する論文、著書を数多く執筆してきた姜氏は、予期せぬ妊娠をした女性への支援などの研究に先進的に取り組む。今回はベビーボックスに関する各国の状況や、日本が抱える課題などについて聞いた。

姜恩和 目白大学 准教授
Kang Eunhwa
聞き手・早坂美都 東京歯科保険医協会 理事



「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「命は最も価値あるもの」妊婦を孤立させない海外の支援 “繋がる”ことが医療の強み

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ



かん・うな 目白大学 人間学部人間福祉学科 准教授/1973年2月生まれ、韓国・ソウル出身。韓国聖心女子大学(現在の韓国カソリック大学)で社会学を学んだ後、95年3月に来日。日本に来て抱いた「なぜここまで母子セッとなのか」「血縁へのこだわりとは何か」という疑問が研究を進めていくうえで大きな柱となる。東京都立大学大学院社会科学部博士課程修了、社会学博士。同大学助教授、埼玉県立大学講師。准教授を経て20年4月から目白大学人間学部人間福祉学科准教授。日韓の家族規範、特別養子縁組制度の比較、予期せぬ妊娠をした女性支援などの研究を行っている。17年、18年のドイツ、フランス訪問から受けた影響は大きく、その後の子ども家庭福祉、妊娠期支援の研究の原動力となっている。

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ

「研究をはじめたきっかけを聞かせてください。」
留学生として1995年に来日し、最初に師事した先生が家族社会学の専門家、伝統家族の比較から始めました。日韓の家に対する考え方や、独自性はどこにあるのかを家族規範の観点から、日本の家制度、韓国の伝統家族の違いのほかに、子どものための養子縁組、妊娠期シ